


2012年3月期 第3四半期決算説明会資料

2012/01/24

 株式会社日立ハイテクノロジーズ

執行役常務 財務本部長 西田 守宏

2012年3月期第3四半期決算説明会資料

I 2012年3月期第3四半期 業績ハイライト

II 2012年3月期 業績予想

III 参考：データ集

(億円)

	当期累計 実績	第3四半期 実績	当期累計実績 前年同期比		第3四半期 前年同期比	
			増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,727	1,512	△152	△3%	△15	△1%
営業利益	178	55	△16	△8%	△1	△2%
経常利益	185	60	△16	△8%	+2	+3%
当期利益 [*]	135	57	+2	+2%	+21	+60%
一株利益 ^{**}	98円48銭		+1円73銭		—	

(*)11/3Q累計特別損益 +35億円(保険差益+41億円、震災による損失△6億円 他)

(**)当期累計実績

(億円)

	当年度予想	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	6,400	△134	△2%	△100	△2%
営業利益	240	△39	△14%	△40	△14%
経常利益	240	△55	△19%	△40	△14%
当期利益	130	△48	△27%	△50	△28%
一株利益	94円52銭	△34円55銭		△36円35銭	
一株配当	30円00銭	+10円00銭		±00円00銭	
FCF	+165	△56		+15	

- ・一株配当には、日立ハイテク創立10周年記念配当金10円含む
- ・前回予想(2011年10月公表値)
- ・11/4Q想定レート:1USD=76円、1EUR=100円

Ⅱ 2012年3月期 業績予想(偏差説明)

対前回予想値(2011年10月公表値)比較

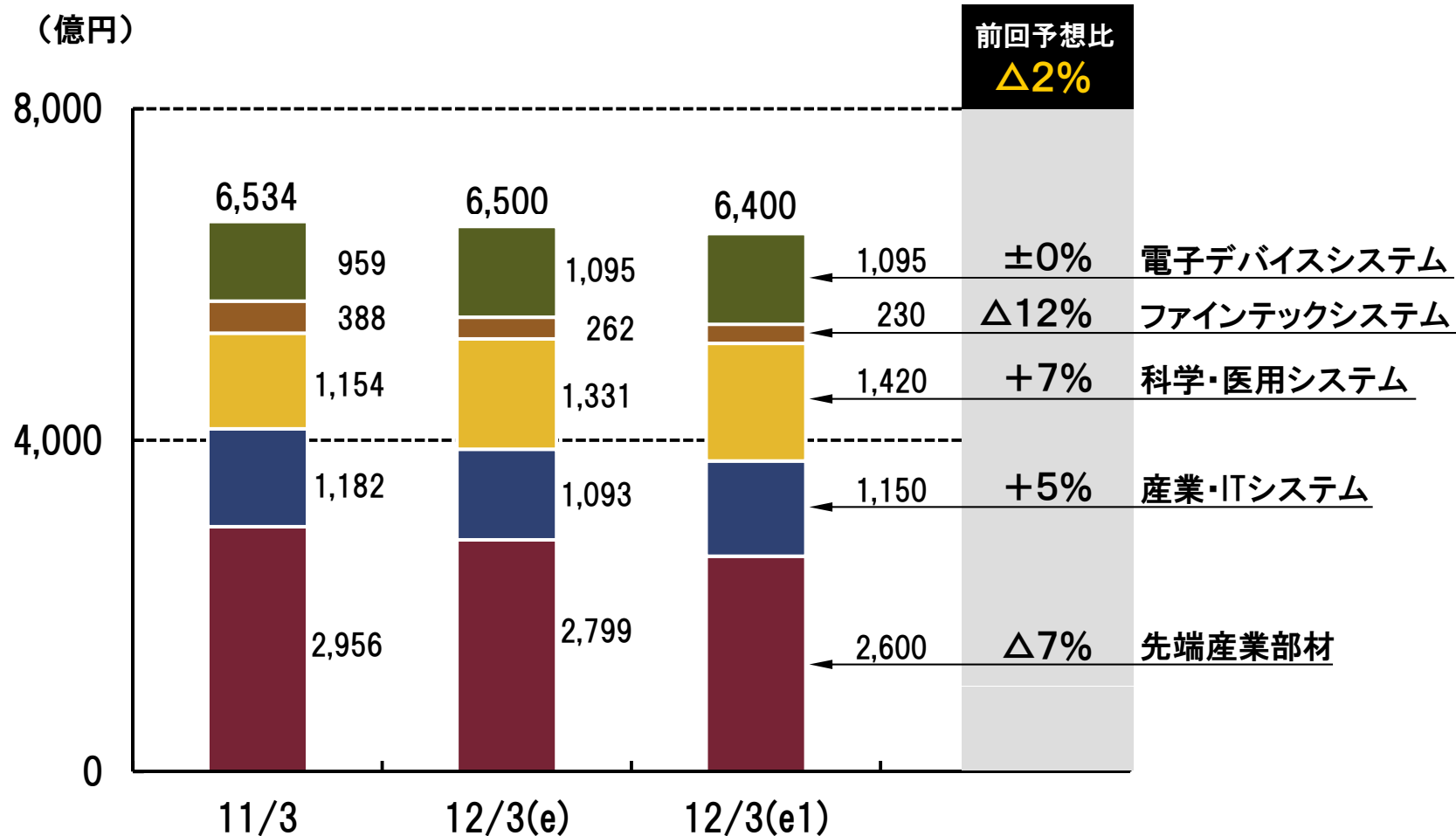
売上高 (6,500億円 → 6,400億円 Δ100億円)

- ファインテックシステム： 中国顧客の液晶関連設備投資の計画遅延や、業界再編およびタイ洪水影響によるHD関連製造装置の設備投資減等により32億円減少
- 科学・医用システム： 新製品投入による海外向け医用分析装置や、DNAシーケンサの出荷増等により89億円増加
- 産業・ITシステム： 米国向け携帯電話の新規モデルの立ち上げ好調等により57億円増加
- 先端産業部材： マクロ経済の鈍化に伴う顧客の投資や原材料・部材需要の落ち込みによる売上減により199億円減少

営業利益 (280億円 → 240億円 Δ40億円)

- ファインテックシステム： 上記売上減少に加え、大口受注案件遅延に伴う操業度悪化等により37億円減少
- 科学・医用システム： 上記と概ね同じ理由により17億円増加
- 先端産業部材： 上記と概ね同じ理由により12億円減少

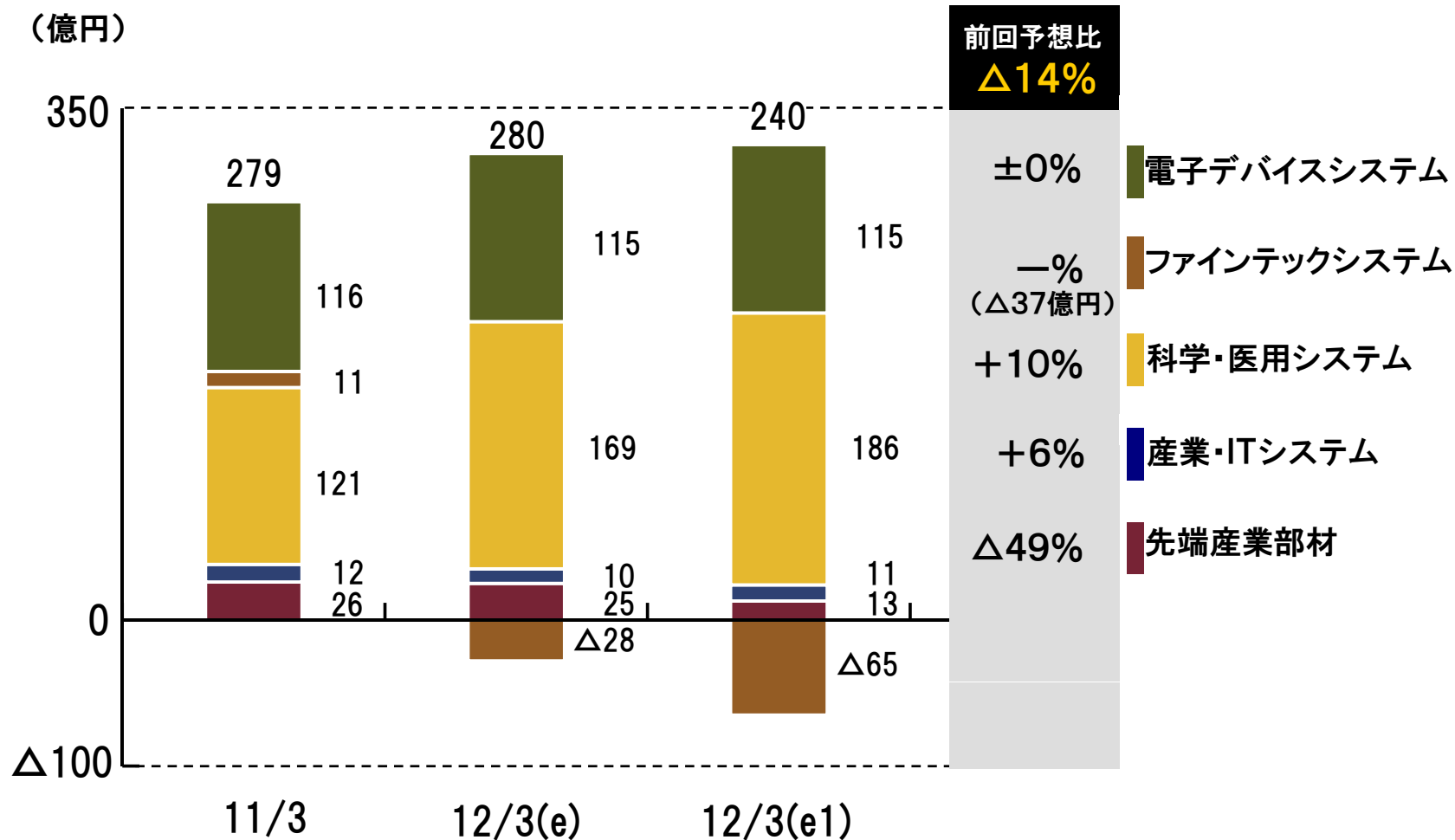
売上高



(注)YY/MはYY年M月期を表しています。
 (e)は、前回予想(2011年10月公表値)
 (e1)は、今回予想(2012年1月公表値)

(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

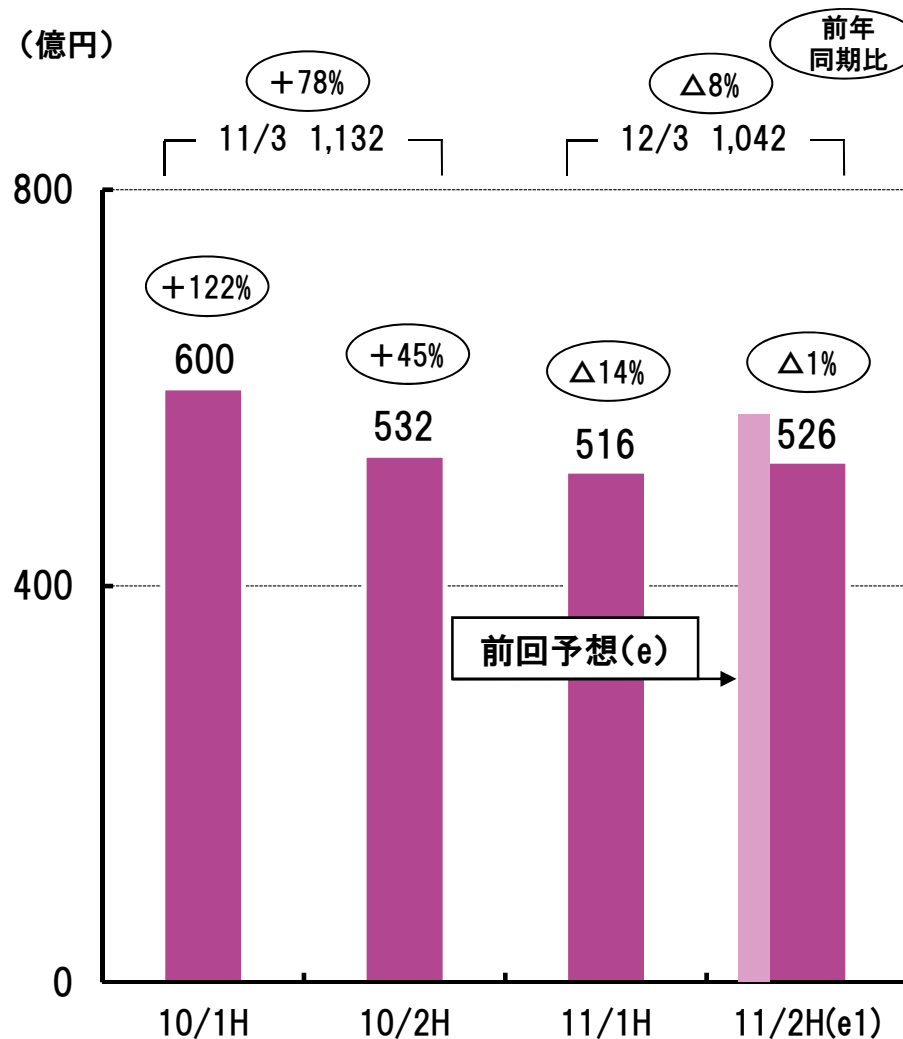
営業利益



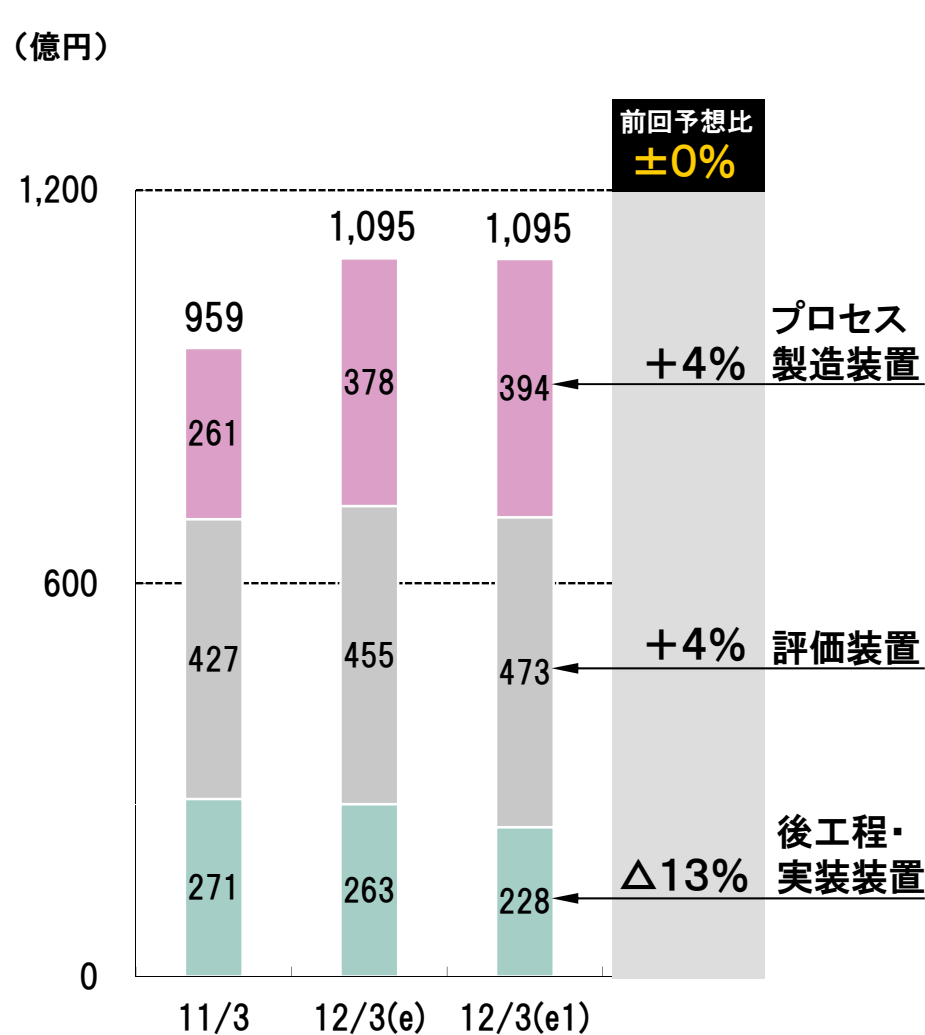
(注)YY/MはYY年M月期を表しています。
(e)は、前回予想(2011年10月公表値)
(e1)は、今回予想(2012年1月公表値)

(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

受注高の推移

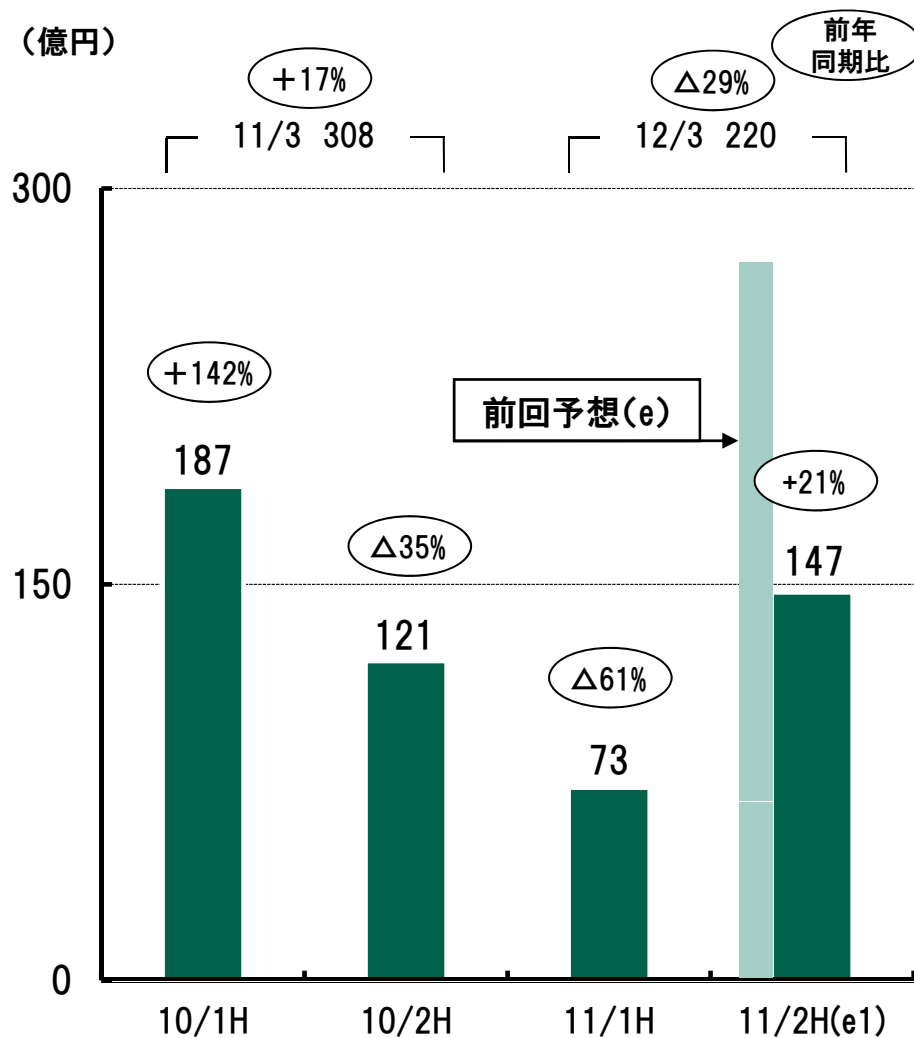


売上高

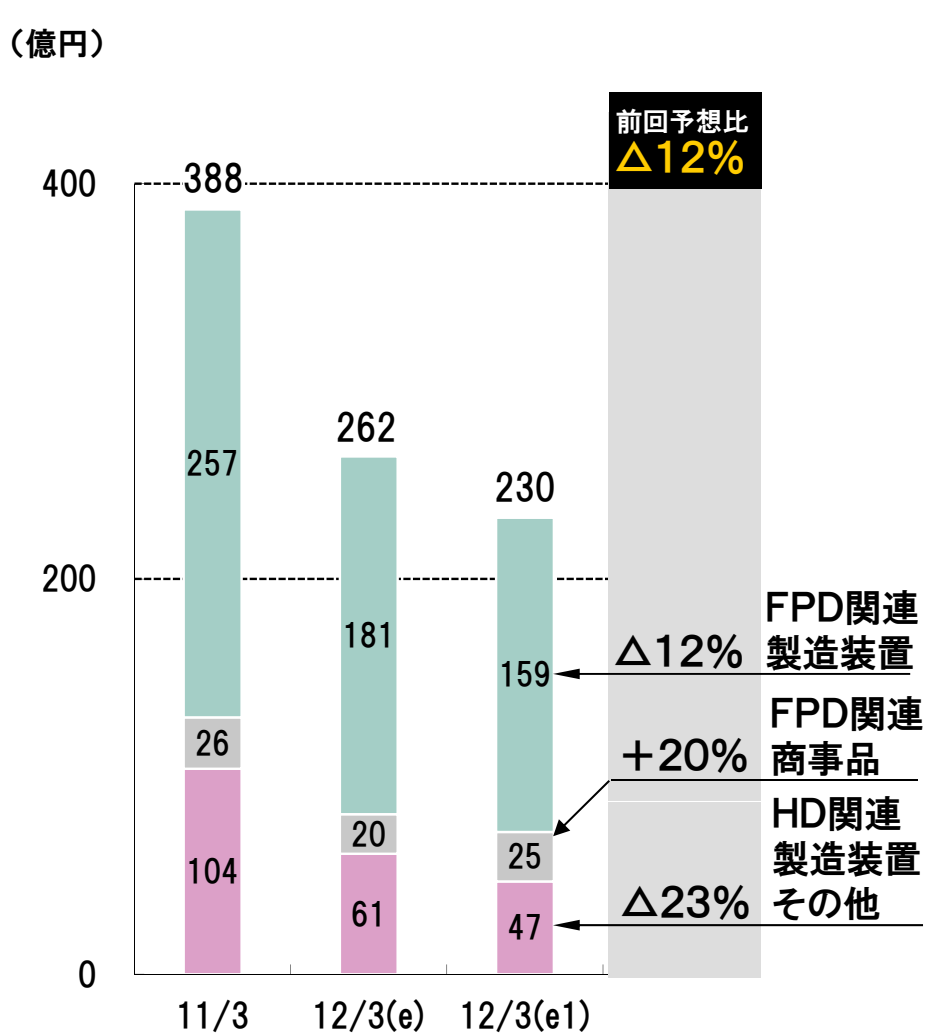


(注)YY/MMはYY年MM月期を表しています。
 (e)は、前回予想(2011年10月公表値)
 (e1)は、今回予想(2012年1月公表値)

受注高の推移



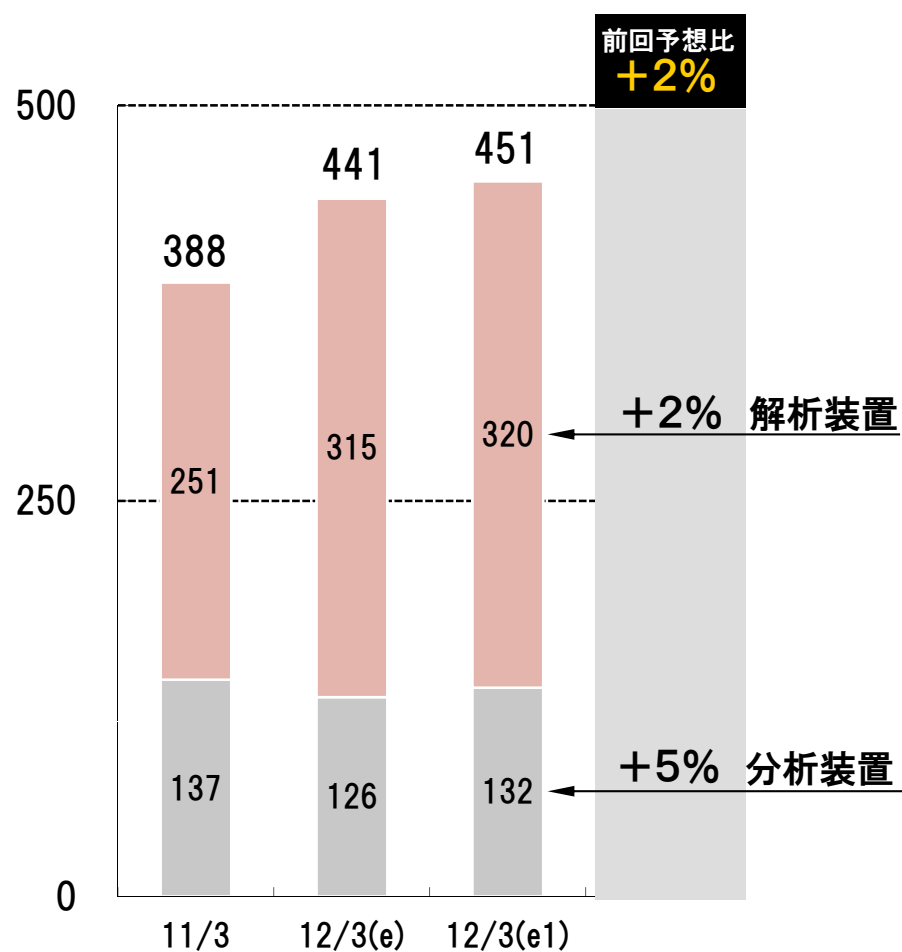
売上高



(注)YY/MiはYY年M月期を表しています。
(e)は、前回予想(2011年10月公表値)
(e1)は、今回予想(2012年1月公表値)

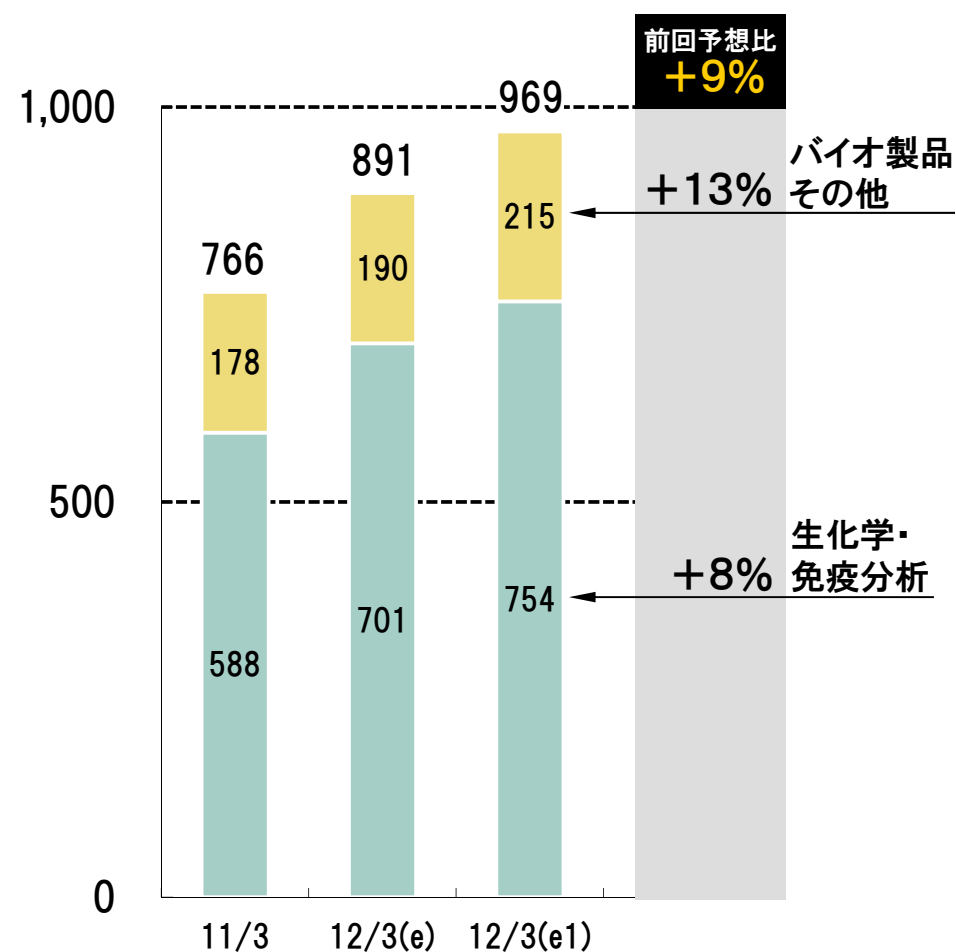
売上高(科学関連事業)

(億円)



売上高(バイオ・メディカル事業)

(億円)

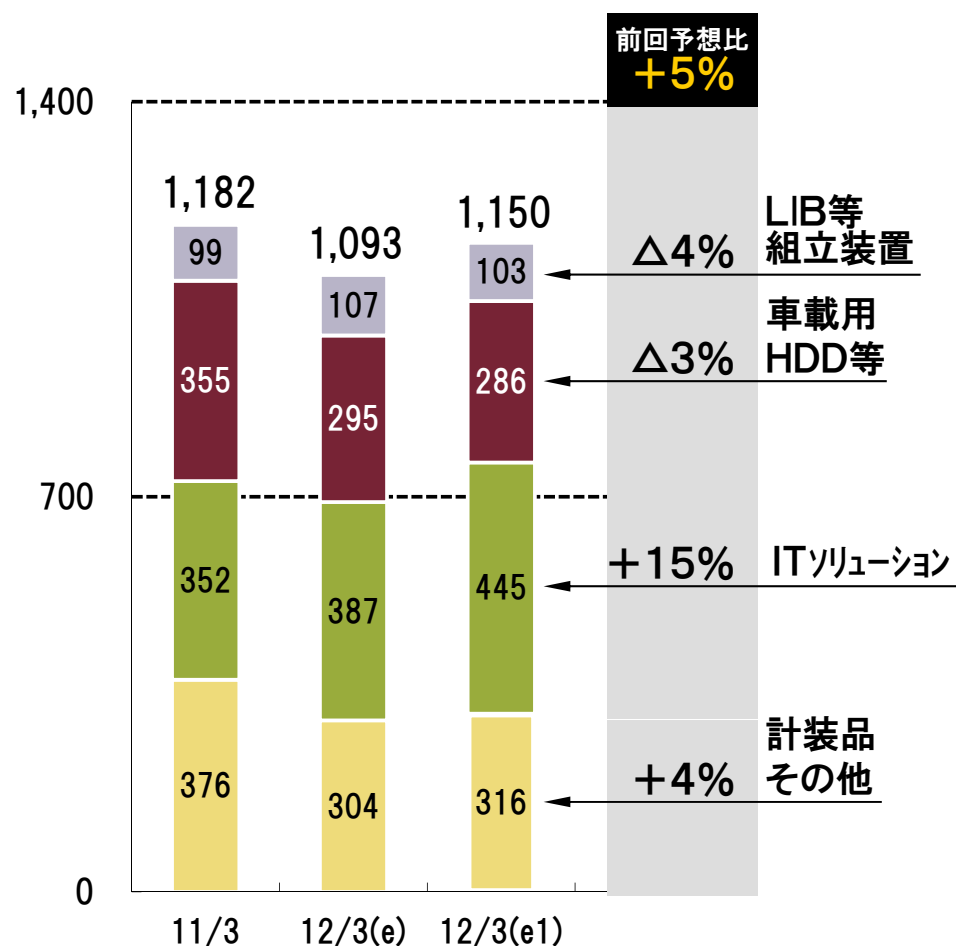


(注)YY/MMはYY年MM月期を表しています。
 (e)は、前回予想(2011年10月公表値)
 (e1)は、今回予想(2012年1月公表値)

Ⅱ 2012年3月期業績予想（商事部門）

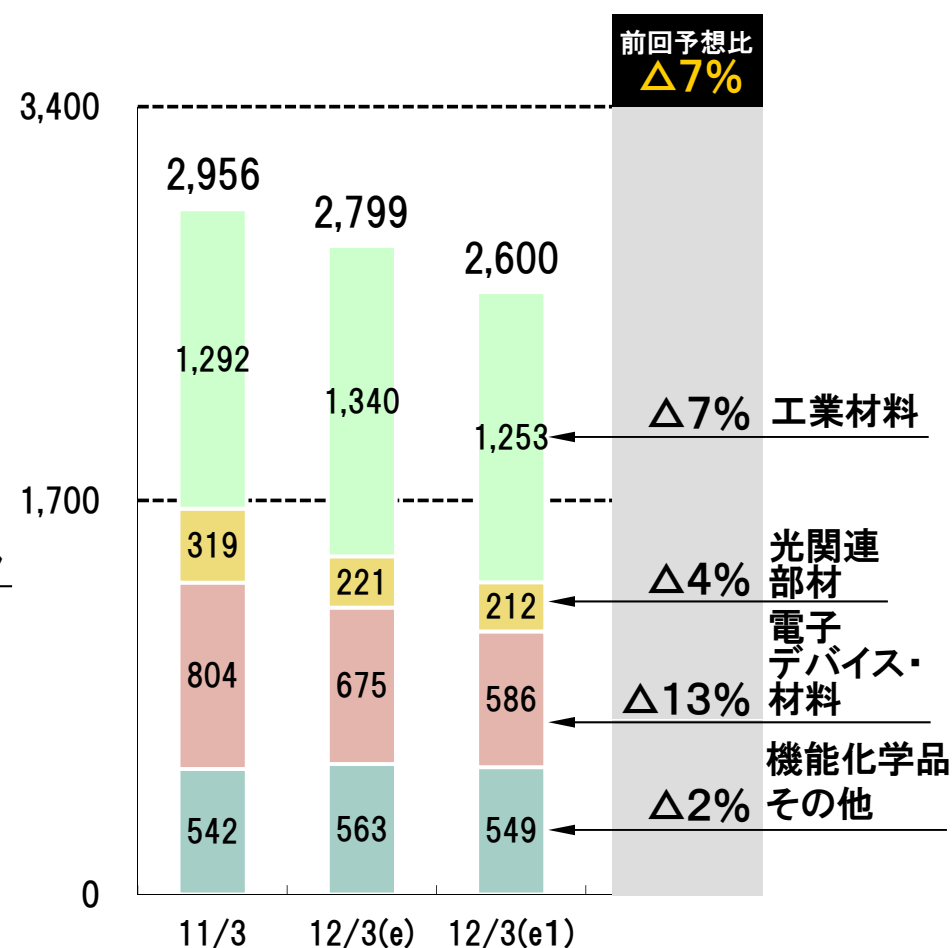
売上高（産業・ITシステム）

（億円）



売上高（先端産業部材）

（億円）



（注）YY/MMはYY年M月期を表しています。
 （e）は、前回予想（2011年10月公表値）
 （e1）は、今回予想（2012年1月公表値）

Ⅲ

四半期業績の推移

(億円)

			10年1Q	10年2Q	10年3Q	10年4Q	11年1Q	11年2Q	11年3Q	
売上高 ／ 営業利益	電子デバイスシステム	売上高	169	311	193	286	231	301	213	
		営業利益	7	48	20	41	24	33	17	
	ファインテックシステム	売上高	67	108	125	88	36	79	56	
		営業利益	△1	7	8	△3	△13	△10	△19	
	科学・医用システム	売上高	275	306	262	311	254	401	394	
		営業利益	30	31	24	36	21	67	63	
	産業・ITシステム	売上高	296	295	262	329	301	302	256	
		営業利益	△3	7	△1	9	△2	4	△1	
	先端産業部材	売上高	802	777	712	666	656	702	618	
		営業利益	11	5	8	2	4	3	2	
	その他・調整額	売上高	△24	△29	△26	△26	△25	△21	△26	
		営業利益	△1	△4	△3	△1	△3	△7	△5	
	合計		売上高	1,585	1,768	1,527	1,655	1,452	1,763	1,512
			営業利益	43	95	57	85	32	91	55
経常利益			50	93	58	94	36	89	60	
当期利益			35	63	35	44	20	59	57	

Ⅲ

主要製品群別売上高の状況

(億円)	10年1Q	10年2Q	10年3Q	10年4Q	11年1Q	11年2Q	11年3Q
電子デバイスシステム	169	311	193	286	231	301	213
プロセス製造装置	32	77	60	91	92	101	101
評価装置	79	125	82	142	87	127	72
後工程・実装装置	58	109	51	53	52	72	40
ファインテックシステム	67	108	125	88	36	79	56
FPD関連製造装置	56	78	103	47	30	66	45
HD関連製造装置その他	11	30	22	41	6	13	11
科学・医用システム	275	306	262	311	254	401	394
分析装置	27	44	31	35	29	38	35
解析装置	36	79	47	89	55	88	71
生化学・免疫分析	162	139	146	141	108	206	232
バイオ製品その他	49	44	38	46	61	67	57
産業・ITシステム	296	295	262	329	301	302	256
LIB等組立装置	35	21	12	32	13	25	21
車載用HDD等	75	82	96	103	87	66	54
ITソリューション	103	99	66	84	126	130	107
計装品その他	83	93	88	110	75	80	75
先端産業部材	802	777	712	666	655	702	618
工業材料	336	339	310	307	318	328	292
光関連部材	99	81	71	68	56	57	47
電子デバイス・材料	238	219	192	155	133	171	149
機能化学品その他	129	138	138	136	148	145	130

<資料取り扱い上の注意>

- ・ 本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・ 当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



END

2012年3月期 第3四半期決算説明会資料

お問合せ先
CSR本部 コーポレート・コミュニケーション部
部長 加藤 弘之
TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943
E-mail:kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

日立ハイテク

最先端を、最前線へ。